

亦中二百七号ノ三

主船第三十山石ノ十七号ノ三

天城山日田磯居小屋焼失ノ義徳局

天城山地蔵堂入官林伐掃場使役日田

磯居小屋寺掃去ル者夜焼失ヲ名請山

出張形材課員台別紙之通届出ル事此

如左届中出ル也

主船局副長

十一年八月廿六日 海軍主計以監養川勇居

造船所長

海軍少将中道重之助

海軍御川村此ノ義徳伐屋

海軍少将赤松則良殿

類考
五五
七号

注カキ子七百廿三号

一黄頁第廿二公行

木九十九通舟

此の又日用の室を焼く事を知る為並山の事
緊要の道を知る事也

1723

平尾山書付遠處奉申上儀

地蔵堂入字小義依原日圓拾七番強居山屋、
於今七日月刻、小義布之湯者、強居山屋、
午時、時前、突然烈風起、外圍之茅、為家根、
、右移、り、右、男、一、回、打、寄、り、消、路、方、積、り、是、方、は、
、右、長、り、届、る、申、具、内、右、智、甚、り、右、殿、強、居、寺、
、橋、燒、害、は、り、右、田、之、修、何、者、右、志、入、右、而、右、
、故、此、後、遠、處、奉、申、上、儀、と

日圓拾七番強居

新井彦三郎

日圓強

三年の目書

修成強助

三

黄頁強助

馬城山邊步張

解村課
四年

持引有延舟四

1725

天城山日用心庵焼失之旨賃取品

焼亡之旨賃取品

天城山地應堂入代橋場日用心庵十七番租居心
庵去ル七百石焼失之旨賃取品別紙之通り焼失取
物兼百石賃取品別紙之通り焼失取
物此旨賃取品は

但賃取品之旨賃取品別紙之通り焼失取
之旨賃取品之旨賃取品別紙之通り焼失取
旨賃取品之旨賃取品別紙之通り焼失取
十年月十日
嘉永四年
石川重船局長殿

記

一 白桶

考 酒

一 磁石

考 酒

一 莖

考 板

一 柄杓

考 本

ノ四層者 燒物に形有

一 鑪

考 板

ノ五層者 燒物に形有

者者且近梓湯品之内時昔夜居小屋出火
之際燒物或者燒物に形有、月此後酒
ノ申上其以也

1730

未列在道舟四

日用十七番廻路

明治五年八月日

新井彦三郎

尾木 祐 助

五條山崎出張

形材課

馬中

1731

木第百六十七号ノ三

主船第千七百九十一号

天城山地藏堂入日用職居小屋焼失之義御届

豆州天城山地藏堂入官林伐本場使役日用職居小屋志棟
去ル八日夜焼失相成出火之原因等相礼レ候处右小屋ハ
屋根周圍共蒿葺ニシテ炊爨之火氣屋根裏へ移リ消防方
不行届焼失致候義ニ相違無之般談山出張艦材課負ヨリ
届出候條日用職共ハ貸渡品焼失品目相添此般御届仕候
也

主船司長

十一年十月廿二日

海軍少書記官石川利行

造船所長

海軍少将中年田倉之助

往入第千三百六十五号

七

1732

海軍卿川村純義殿

海軍卿

1733

日用拾八番組貸渡品焼失并焼損品目

一 印番付幟

尅 本 焼失

一 薰筵

貳 十枚 同

一 炊桶

尅 個 同

一 手桶

貳 個 同

一 味噌樽

貳 本 同

一 大鍋

尅 枚 焼損

一 斧

尅 挺 同

ノ七廉

1734

